平成１９年度　　事　業　報　告

総括報告

さいたま観光コンベンションビューローは、さいたま市及びその周辺地域における観光コンベンション事業の発展と普及をはかり、市民文化の向上と地域経済社会の発展に寄与すること等を目的とする団体として、今年度も会員をはじめ行政機関や関係団体との密接な連携の基に、積極的な事業の推進をしてきたところである。

しかしながら、平成１９年度の経済情勢も引き続き、大変に厳しい景気状況が続き、当ビューローの事業活動を取り巻く経済環境も前年同様厳しいものであった。

今年度は、１９年１０月にオープンした鉄道博物館が大きな話題を集め、開館５ヶ月半で１００万人の入場者を達成し、全国からさいたま市への誘客をはかれる施設として引き続き多くの集客を集めている。この鉄道博物館の開館を契機に、本市への観光需要は高まりを見せつつあり、これまであまりなかった関西方面などからの集客も増加している状況である。このような中、当ビューローとしても情報発信機能の強化として、１９年６月より市民観光サポーターが直接投稿できる「さいたま市に行ってみたくなる！ブログ」の開始や、初めて作成した「見つけてください さいたま市 誘客ポスター」の発行、大判の写真を使いビジュアル面での訴求力を高めたガイドブック「さいたま市に行ってみたくなる！観光ガイドブック」の作成等、より訪問意欲を高められるよう各種施策を行った。

観光イベント事業については、それぞれの特色を生かした各種イベントを開催。全て成功裡に開催することができた。加えて、さいたま市花火大会においては、従来から要望の高かった３会場での開催とするなど、市民には大変好評であった。これらビューローが関連したイベントでは、入れ込み合計が２４４万人に達した。

コンベンション事業においては、誘致営業活動を強化するとともに、誘致実績も着実に推移しており、さらに県・市・関係団体と一体となった誘致体制の充実をはかっている。本年度は国土交通省より、国際会議観光都市の認定を１９年８月に受け、今後さらに各種会議の誘致に向け積極的な営業活動を推進している状況である。

例年実施しているコンベンション経済波及効果調査でも、１８年度の経済波及効果額は１８３億円余となり、コンベンション事業の推進が益々重要性を帯びてきている。

観光案内所の運営においては、ＪＲ東日本と共同で運営する大宮駅観光案内所を始め、さいたま新都心駅、北浦和駅、浦和駅前の各案内所においても観光案内を、情報提供をはじめ様々なサービスを提供し、年間利用件数は３７６，１６９件であった。

経営面においては、経営改善計画を柱に、公益法人としてふさわしい、あるべき姿に近づくため、自主財源の増加をはかった。

事業別報告

i　観光事業

（１）地域観光振興事業

地域観光行事への助成、支援

・各種イベント、地域観光振興事業の協賛後援事業（大盆栽まつり・さいたま太鼓エキスパート・大歳の市（十二日まち）・大正時代まつり・与野七福神めぐり・大宮日進七夕まつり・うなぎまつり・コラボさいたま、咲いたまつり、岩槻まつり他）

・Ｊリーグチーム等への積極的支援及び協力

・海外姉妹都市との交流事業への協力

・友好都市との交流事業への協力

各種観光セールス、観光キャンペーン等への参加

・観光客誘致キャンペーンへの参加

２月８日（金)、都道府県会館（平河町）で開催された「埼玉県観光交流会」に参加。さいたま市をＰＲし、誘致に努めた。

花の名所の維持管理

（２）観光物産振興事業

推奨土産品の広報及び販売経路の拡充、観光物産調査

１９・２０年度の推奨土産品の選定（４８品目）を行った。

（３）観光イベント事業

行 事 名	期　　日	場　　所	入込／参加人数
岩槻城址公園桜まつり	４／１	岩槻城址公園	入込40,000人
さくら草まつり	４／２１・２２	市役所・さくら草公園	入込市役所10,000人 入込さくら草公園 90,000人
ばらまつり	５／１９・２０	与野公園	入込180,000人
大宮薪能	５／２５・２６	武蔵一宮氷川神社境内・さいたま市民会館おおみや	鑑能者2,210人
氷川神社の茅の輪くぐりと植木草花市	６／３０	武蔵一宮氷川神社境内・参道	入込22,000人
朝顔市	７／１	岩槻愛宕神社	入込700人
与野夏祭り	７／１４・１５	与野本町通り周辺	入込175,000人

浦和祭り（みこしパレード・南浦和会場・音楽パレード・浦和おどり）	みこし７／２２ 南浦和７／２２ 音楽・おどり ７／２９	浦和駅周辺 南浦和駅東口西口 浦和駅周辺	みこし入込 140,000人 南浦和入込60,000人 音楽入込20,000人 おどり入込20,000人
さいたま市花火大会 大和田公園会場	７／３１ （荒天のため）	大和田公園周辺	入込130,000人
大宮夏まつり「スパークカーニバル」	８／１	大宮駅西口周辺	入込280,000人
大宮夏まつり「中山道まつり」	８／１・２	大宮駅東口周辺	入込280,000人
大宮夏まつり「大宮日進七夕まつり」	８／６・７	日進駅前通り周辺	入込170,000人
さいたま市花火大会 浦和競馬場会場	８／１１	浦和競馬場	入込150,000人
岩槻まつり	８／１９	岩槻駅東口周辺	入込135,000人
さいたま市花火大会 岩槻文化公園会場	８／２４	岩槻文化公園	入込90,000人
さいたま市民まつり	１０／１３	さいたま新都心周辺	入込180,000人
クリーンさいたま釣りの祭典	１０／２１	びん沼川周辺	参加244件
十日市	１２／１０	武蔵一宮氷川神社境内・参道	入込180,000人
十二日まち	１２／１２	調神社とその周辺	入込130,000人
大宮Ｂｏｎｓａｉ大学	３／９	見沼グリーンセンター	参加59人
合　計		入込計　2,482,700人	

（４）おもてなしの心普及啓発事業

観光ボランティアガイドなどの協議会設立の検討及び既存ガイド会への支援

・「おもてなしの心」普及啓発事業

来訪者への歓迎のメッセージとして「Welcome to SAITAMA」ステッカーをタクシー車内用に作成、頒布した。（２，０００枚作成）

・観光ボランティアガイド会への支援

岩槻観光ボランティアガイド会、観光ボランティア浦和ガイド会への支援として、ホームページ上での紹介並びに派遣依頼の受付を行った。

（５）観光に関する調査研究

既存の観光事業の分析・検証

地域観光情報の基礎データベースの整理、観光資源の調査

さいたま市観光振興ビジョン策定への協力

（６）事務局受託事業

ばらまつり、大宮夏まつり「スパークカーニバル」・「中山道まつり」、さいたま市花火大会

ii　コンベンション事業

（１）誘致・支援事業

コンベンション主催者へのセールス活動

さいたま市が国土交通省より「国際会議観光都市」に認定されたのに伴い、ＪＮＴＯより国際会議情報がもたらされるようになった。残念ながら、誘致成功には至っていないが、将来への誘致候補として有望な案件も出ている。

また、引き続き各主催者団体のホームページ、その他情報類によりコンベンション開催地並びに役員名等の情報を分析し、本市開催の可能性がより高い団体に対して、県内キーマンや団体本部を中心に誘致セールスを行った。

<コンベンション誘致パンフレット>

新たにコンベンション主催者へ向けた総合的に誘致セールス用に活用できる「成功するコンベンションをさいたまで」を作成。（２，５００部発行）

来客者に対する主要駅への歓迎看板の掲出

ＪＲ大宮駅及びさいたま新都心駅の歓迎看板を活用し、本市来訪への歓迎の意を表し、市民へホスピタリティ啓発のアピールを行い、また、コンベンション参加者への案内に役立たせることができた。

観光マップ、コンベンションバッグ等の提供

観光マップを４１件約２４，０００部、コンベンションビニールバッグを２３件約１６,０００部、紙製バッグを９件約３，０００部提供し、本市開催のメリットをアピールした。

<コンベンションバッグ>

従来のビニール製のものに加え、より多くの資料を入れられ且つさいたま市の観光 PR に役立つコーティング紙製バッグを作成（７，０００部）し、有料で提供。主催者にも好評を博している。

会員利用促進助成金の創設

３件６０万円を助成し、主催者がビューロー会員を利用するよう誘導した。

コンベンション開催準備資金貸付制度の実施

他の支援事業と併せ本制度の周知を図り、本市開催の誘致活動を行ったが、貸付を希望するコンベンションはなかった。

インターネットによるコンベンション情報の発信

支援メニューの充実等を図るとともに案内をわかり易くし、コンベンション主催者の利便性を高めた。

コンベンション開催時における臨時観光案内所、推奨土産品販売所の出店

当ビューロー直接の臨時観光案内所設置は行なわなかったが、コンベンション会場への土産品販売所の設置や土産品のＰＲを行った。

産業観光、アトラクション情報等の提供及びシステムの拡充

アフターコンベンションのニーズに応えられるよう、産業観光施設、郷土芸能９演目について手配、紹介ができるようにはかった。

推奨コンベンション弁当の周知

セールスパンフレット・ＨＰや施設見学会等で主催者に周知を図っており、会員弁当業者への問い合わせも増加している。

会議・観光地等の写真貸出システムの拡充

コンベンション主催者が宣伝集知用に作成するポスター等への活用を促進した。

その他コンサルティング

（２）ＩＭＥ出展事業

国際ミーティングエキスポ「ＩＭＥ２００７」への出展

１２月１８日（火）～１９日（水）、国際フォーラムにおいて、国土交通省、日本コングレス・コンベンション・ビューロー（ＪＣＣＢ）、及び独立行政法人国際観光振興機構（ＪＮＴＯ）主催の「第１７回国際ミーティングエキスポ（ＩＭＥ２００７）」へ市内コンベンション施設の協力のもと出展し、さいたまブースに来場

した主催者約４０名に対し、本市への開催誘致を図った。（全来場者数１，７０２名---但し、出展関係者を除く）

（３）施設見学会事業

コンベンション施設見学会の開催及びソニック施設内覧会への協力

・コンベンション施設見学会の開催

３月３日（月）、ＩＭＥ２００７におけるさいたまブース来場者へのフォローアップ及び新規顧客の獲得を目的に、主催者・エージェント等を対象とした市内施設見学会（大宮ソニックシティ、さいたまスーパーアリーナ、鉄道博物館、ジョン・レノン・ミュージアム）を開催し、２９団体４４名の参加をみたが、前年度とほぼ同数の参加団体及び人数の実績をあげることができた。

・コンベンション施設内覧会への協力

９月１８日（火）、財団法人埼玉県産業文化センター主催の「大宮ソニックシティ施設内覧会」へ職員を派遣し、支援内容の説明、観光スポットの案内等を行った。

（４）情報収集事業

コンベンションデータ（顧客名簿・開催意向等）の管理及び更新

分析調査及び誘致セールスで得た各種情報をデータベース化し、系統的セールス活動が行なえるよう管理、更新を図っている。

観光・コンベンション団体、関係機関との広域連携による情報収集

ＪＣＣＢ、全国コンベンション運営事業者協議会（ＣＰＡ）、日本ＰＣＯ協会の総会及びＪＣＣＢ主催のコンベンションビューロー部会、研修会等に参加し、他市ビューローや業界関係者との情報交換を行った。

また、ＪＮＴＯ等のコンベンション推進団体による各種統計・アンケート調査等に対して随時協力した。

（５）経済波及効果調査事業

コンベンション開催による経済波及効果調査の実施

１８年度における年間開催件数及び年間経済波及効果を調査し、コンベンション事業に対する行政及び民間の理解と協力を働きかけるため、個別調査とともに報告書を作成し関係機関等に提出した。

個別コンベンション開催実績調査の実施

本市で開催されたコンベンションの実態を計数的に把握するため、１９年度に開催された個別のコンベンション（５件）における経済波及効果を調査した。

ⅲ　広報宣伝事業

（１）広報宣伝活動

観光情報誌「Ｓａｉ‘ｓ（さいず）の発行（年４回）

来訪者等へ向けた観光情報の広報宣伝を行った。今年度から発行を１号増加し、年４回発行とした。(夏号＝６月、秋号＝９月、冬号＝１２月、春号＝３月：各１５，０００部発行)

各種観光マップ・ポスターの作成・頒布の実施

< Visitors Guide「さいたま市に行ってみたくなる！観光ガイドブック」の発行>

これまでの「さいたマップ」に代わるものとして、大きな写真を使用することで誘客訴求力を増し、形式も拡大して作成した。（５０，０００部発行）

<観光マップ「ポケナビさいたま」の発行>

日本語・英語併記版を作成。（１００，０００部発行）

<誘客パンフレット「ようこそ！さいたま市」の発行>

誘客用として、日本語・英語・韓国語・中国語の４カ国語版を作成。（各１，０００部発行）

<誘客ポスター「見つけてください　さいたま市」の発行>

本市では初めての誘客ポスターとして６００部作成。

新聞・タウン誌、その他広告媒体による広報・宣伝の実施

媒体種別	掲載件数	
新聞	３３	プレスリリース回数 ２９回
タウン誌（紙）	９７	
専門誌	１０	
雑誌	３０	
行政関連出版物	１９	
会報等	１４	
テレビ	5	
ラジオ	5	
ＷＥＢ	４９	
その他	１７	
合計	２７９	

（２）インターネットによるシティセールス

インターネットによる国内外への誘致ＰＲ

・ホームページ「ｗｅｂ　Ｓ＠ｉ‘ｓ（うぇぶさいず)」の運営

外国語版（英語・韓国語・繁体字・簡体字）のリニューアル

・ブログ「もぎたてさいたま情報」の運営

・ブログ「さいたま市に行ってみたくなる！ブログ」の開始

市民観光サポーターを募集。直接記事を投稿できるブログとして運営。

アクセス数（訪問者数）は昨年に比べ１１８．７％増加し、６５万４千ページ件、ページ閲覧数は１２６．９１％増加し、２９０万７千ページであった。

月	訪問者数（件）	ページ閲覧数（ページ）
平成１９年４月	４３，２３６	１９３，１３０
5月	５３，６５８	２３８，４６０
6月	５０，８２０	２２９，８９１
7月	１０７，４１５	５８５，２４３
8月	８６，７４７	４２０，９０１
9月	３９，４１９	１５６，９５９
10月	５５，９３９	２２３，５０５
11月	４６，６２３	１７３，９４１
12月	３８，１４７	１５７，０５８
平成２０年１月	４２，８１２	１６９，６６８
2月	３８，５７９	１６３，９９５
3月	５０，７６１	１９５，１４８
合計 (昨年度)	６５４，１５６ （５５１，０９５）	２，９０７，８９９ （２，２９１，３２７）
前年比 １ヶ月平均 １日平均	１１８．７０％ ５４，５１３ １，７９２	１２６．９１％ ２４２，３２５ ７，９６７

（３）第７回「さいたま市に行ってみたくなる！写真コンクール」の開催

従来の「さいたま市観光写真コンクール」から名称変更、加えて今回よりテーマを設定して新しくスタートした。第７回のテーマは、「市内の神社仏閣を題材に、その写真を見た方がさいたま市に訪れたくなうような写真」とし、６６名、２１６点の応募があった。また、入賞作品展示会をさいたま市市民活動サポートセンター（浦和パルコ／コムナーレ）で２月２７日（水）から３月４日（火）まで開催した。

（４）観光プロモーションスライドショー制作体験イベントの開催

１０月１３日（土）にさいたまスーパーアリーナで行われた「さいたま市民まつり　咲いたまつり２００７」会場にて、大宮商業高等学校の生徒、アップルジャパン（株）の協力を得、観光写真をパソコン上でスライドショー作品を

制作する体験イベントを実施。完成した１０作品はビューローのホームページ及びＹｏｕ Ｔｕｂｅで公開した。

iv　観光案内所運営事業

（１）観光案内所等の管理運営

大宮駅観光案内所（ＪＲ大宮駅東西自由通路内)、さいたま新都心観光案内所（ＪＲさいたま新都心駅東西自由通路内)、北浦和観光案内所（ＪＲ北浦和駅東口前)、浦和観光案内所（ＪＲ浦和駅西口前）の運営

・観光案内業務

・各種パンフレット配布業務

・「Ｖ」案内所（ビジット・ジャパン案内所）ネットワークによる情報収集・発信

・推奨土産品、観光グッズ、委託物品の販売業務

・チケットぴあ業務

v　物品販売事業

（１）観光オリジナルグッズ等の販売による収益事業の推進

グッズ等売上２７２，２００円

（２）公共施設等における自動販売機の設置による来遊者へのサービス事業の推進

年間売上３，２３６，６５１円

（３）その他、自主財源の確立に向けた取組

観光案内所による推奨土産品、観光グッズ、委託物品の販売業務、チケットぴあ業務

販売手数料収入１１，５３５，４３８円

vi　その他

（１）情報収集事業

観光コンベンション団体、関係機関との広域的連携による情報収集

大都市観光協会連絡協議会への参加による情報交換

政令指定都市の観光協会、コンベンションビューロー等で組織する大都市観光協会連絡協議会へ参加。様々な施策や課題などについて情報交換を行った。

（２）会員サービス事業

会員相互の交流の場の提供及び会員名簿の作成

新春賀詞交歓会を平成２０年１月２５日（金）に大宮サンパレスで開催。来賓８名、会員１４５名の参加があった。

功労者・優良従業員表彰制度の実施

観光コンベンション事業に功績のあった功労者１０名、事業従事者２名を平成１９年６月２２日（金）開催の通常総会にて表彰した。